

**カンファレンスを利用し、  
目標を他職種と共有することで  
満足感を得ることが出来た症例**  
—トイレまでの移動を含めた排泄動作に着目して—

**医療法人 誠和会 介護老人保健施設 福寿荘  
作業療法士 佐田健太**

**「第34回岡山県作業療法士会(令和4年3月13日 WEB開催)にて発表」**



# 第34回岡山県作業療法学会

COI（利益相反）開示

筆頭演者：佐田 健太

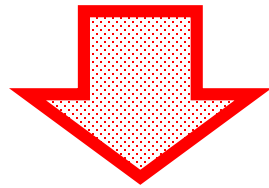
本演題発表に関連して、開示すべき  
COI関係にある企業などはありません



# はじめに

- 患者とリハビリテーションスタッフが目標を共有することで、生活に満足感を得ることが出来る

(千田ら. 2013年)



カンファで本人・他職種と目標共有して生活に満足感を得られた症例を経験した



# 症例紹介

年齢・性別      80歳前半・男性

診断名          パーキンソン病

現病歴          上下肢に力が入りづらくなり当院へ入院

病前生活        A D L 自立

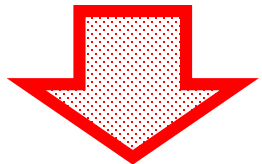


# 作業療法評価

3病日目 興味関心  
チェックリスト



排泄の関心が強い



目標

病室トイレで排泄動作を  
一人でできるようにする

介助される  
ことへの不満

病室トイレ入り口  
20cmの段差

歩行・排泄動作  
に介助必要

センサーベッド  
対応

	初回 (3病日目)
FIM	48点
m-FIM	25点
排泄動作	3点
移動	1点
HDS-R	24点

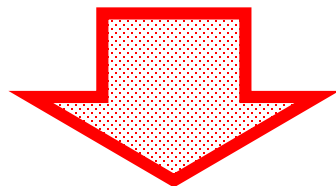
# 経過

リハビリ

移動安定・排泄動作自立

病棟

移動・排泄動作共に介助

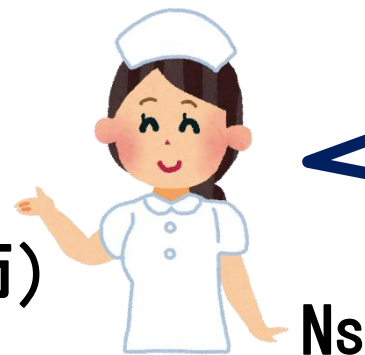


目標共有できていない



# 20病日目 カンファ実施

参加者（**患者様**、リハスタッフ、看護師）



センサー  
ベッド継続

## ※ウォーキングカンファレンス

→看護師とリハスタッフで  
**患者様の動作を見ながら**、  
環境調整・目標等について  
話し合う場



病室トイレの  
段差は見守り  
で可能

他職種での意見  
の違い！！

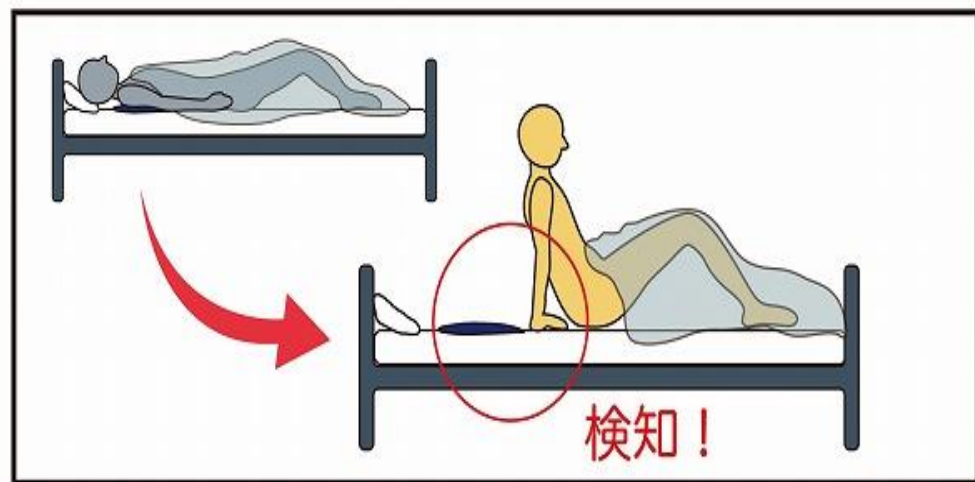


本人は**下衣操作**  
で介助される  
ことに不満

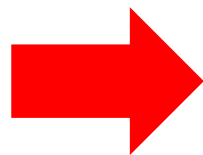


# カンファでの環境調整

病室トイレで排泄動作を一人で行えるようになる  
本人・他職種で目標共有！！



センサーベッド



センサーマット





# 結果

移動は独歩で自立・排泄動作自立

トイレを一人で  
できる様  
になって満足です。



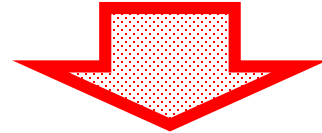
	初回 (3病日目)
FIM	48点
m-FIM	25点
排泄動作	3点
移動	1点



	最終 (29病日目)
FIM	106点
m-FIM	82点
排泄動作	7点
移動	7点

# 考察

- ・ 排泄動作の自立には人間の尊厳が伴い、自立への要求は高い  
(松本. 2006年)
- ・ 意見の違いが生じるとチーム医療間での連携がうまくいかないことが多い  
(京極. 2011年)



一方的にリハビリスタッフからの意見を通すのではなく、  
本人・他職種の意見を踏まえた目標共有をすることで、  
排泄動作自立へと繋がり、満足感を得ることが出来た